

# 令和7年度札幌国際芸術祭実行委員会 事業計画書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

令和7年度は、令和8年度冬季に開催予定の「札幌国際芸術祭2027 (SIAF2027)」<sup>サイアフ</sup>に向けた準備を進めるとともに、次回芸術祭の目指す方向性「札幌の独自性を生かし、札幌市民を中心に、誰もが参加・体験しやすい芸術祭の実現」につながるよう、効果的に広報プロモーションや普及事業等を展開していく。

## 1 SIAF2027の開催準備

### (1) テーマ・コンセプト等の決定

クリエイティブディレクターである小川 秀明氏を中心に、SIAF2027で示すメッセージであり土台となる「テーマ・コンセプト」を決定する。

また、そのテーマ・コンセプトをもとに多彩な展示やプログラムを展開する「主要会場」や、SIAF2027を効果的に印象づける「メインビジュアル」等を決定する。

### (2) 実施体制の構築

4名のディレクター（クリエイティブ/フェスティバル/スクール/スタジオ）によるディレクターチーム体制のもと、キュレーター、デザイナー、専門スタッフ等の選定など、実施体制の構築を図る。

SIAF2027においては、持続的な事務局体制の構築を目指し、引き続き地元人材を積極的に登用し、札幌独自の芸術祭を作りあげるとともに、実務者としての実績も有する各ディレクターと地元人材が協働することにより、**地元**に**新たな経験**を残していく。

### (3) 開催計画の検討

テーマ・コンセプトに基づいた具体的な**展示内容**や**実施プログラム**、**参加アーティスト**等を検討する。

また、**会場ごとの展開**や**効果的な周遊**を促す**構成**、**誰もが鑑賞・参加・体験**できる**仕組みづくり**など、具体的な開催計画の検討を進める。

#### (4) メディアアーツ都市展開の検討

SIAF の国際的なプレゼンスを高め、人材交流を活性化するため、札幌市が加盟するユネスコ創造都市ネットワークにおける「メディアアーツ都市」のブランドを活用する。

また、このネットワークに加盟する**海外都市との連携によるプログラムの実施やシンポジウムの開催**などを検討し、SIAF2027 に向けた展開へとつなげていく。

## 2 広報プロモーション

### (1) プレスリリース/記者発表

上記の SIAF2027 に関する決定事項について、SIAF2027 に向けた事業展開の基盤となる「テーマ/コンセプト」を中心とした内容を夏季に発表。その後の冬季には、「会場/会期/メインビジュアル/アーティスト/連携企業など」の具体的な情報を発表する。

また、周知方法については、市内広告や WEB に加え、専門誌や海外メディアなど多様な媒体と連携し、**国内外への効果的な情報発信**を行う。

### (2) WEB/SNS

SIAF への関心を持続させ、SIAF2027 の開催に向けた機運を高めるため、即時性のある WEB や SNS を効果的に活用し、普及プログラムの活動内容や SIAF2027 の情報を**継続的に発信**する。

### (3) 新しい WEB サイトの構築

市民をはじめとする多くの方が SIAF のさまざまな情報にわかりやすくアクセスできるよう、SIAF2027 に向けた新しい WEB サイトを構築する。

なお、WEB サイトの構築にあたっては、SIAF2027 専用の特設サイトを用意するのではなく、各種イベント情報の周知や過去のアーカイブ情報を管理する目的で通年運用している現行の WEB サイトをベースにリニューアルすることで、入口を一元化し、**利用者にとってシンプルで使いやすい仕組み**とする。

### (4) SIAF ラウンジでの情報発信

札幌市資料館内の「SIAF ラウンジ」を活用し、当該文化施設を訪れる観光客や来場者に SIAF の普及プログラムや SIAF に関するアーカイブ（冊子、写真、動画等の記録資料）を紹介する。

さらに今後の活動に関する情報も提供し、SIAF の魅力を発信する。

### 3 SIAF 普及事業

#### (1) SIAF スクール

SIAF2027 への関心の層を広げるため、SIAF の教育的事業に位置付ける「SIAF スクール」の取り組みを継続する。具体的には、市内の学校で展開する「**出前授業**」、SIAF スクールの活動を支え、教育機関とのネットワークを構築するための「**教育喫茶**」、主体的な市民参加の場である「**ふむふむプロジェクト（ボランティア活動）**」の枠組みを軸に、各種プログラムを設計する。

また、プログラムの設計・実施に当たっては、**教育機関や企業、団体などと幅広く連携**するとともに、これらの活動を通じて**地元の人材育成**につなげる。

さらに、活動にあたっては、札幌市資料館内にある「SIAF ラウンジ」や「SIAF プロジェクトルーム」を拠点として活用し、関係者が恒常的に活動しやすい環境づくりを行う。

#### (2) SIAF プレイベント

SIAF2027 への機運醸成・実践・関係機関との連携強化などを目的として、令和 6 年度に引き続き、令和 7 年度**冬季に SIAF プレイベントを実施**する。

その内容については、「**SIAF スクールの取り組みにおける成果の発表と検証**」、「**SIAF2027 やメディアアーツ都市展開に向けた実践**」、「**市内の文化イベントとの連携を通じた関係性の構築**」を軸に検討し、目的の達成を図る。

また、冬のイベント以外にも、アート初心者から関心層まであらゆる方を対象に、SIAF の魅力を感じてもらうためのイベントやプログラム等の継続的な実施も検討する。

### 令和 7 年度事業計画 年間スケジュール（予定）



## SIAF2027 に向けたメディアアーツ都市展開の検討について

### ユネスコ創造都市ネットワーク（UCCN）

創造性(creativity)を核とした都市間の国際的な連携によって、地域の創造産業の発展を図り、都市の持続可能な開発を目指すもの。創造分野には、文学、映画、音楽、クラフト&フォークアート、デザイン、食文化、メディアアーツの7つがあり、参加する各都市はネットワークを活用し、知識・経験の交流、人材育成、プログラム協力などを行っている。

### 札幌市が加盟する登録分野「メディアアーツ都市」

|         |   |
|---------|---|
| 概要      | <p>デジタル技術などを用いた新しい文化的、クリエイティブ産業の発展を目指す都市。さらに都市生活の改善に結びつくメディア芸術の振興、そして文化多様性の理解や市民参加を促す電子芸術の成長を牽引する都市。</p> <p>■展開事例（UNESCO）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ デジタル技術によって引き起こされる文化的、クリエイティブ産業の開発</li> <li>・ 都市生活の向上につながる効果的なメディアアーツの統合</li> <li>・ 市民社会の参加を促す電子的な芸術形式の成長</li> <li>・ デジタル技術の開発を通じての文化へのより広いアクセス など</li> </ul> |
| 加入経緯    | <p>2006年3月   創造都市さっぽろ宣言</p> <p>2012年6月   札幌国際芸術祭基本構想<br/>(創造都市さっぽろの象徴事業として札幌国際芸術祭を開催)</p> <p>2013年11月   ユネスコ創造都市ネットワークに加盟<br/>(世界で2都市目、アジアで初めて)</p>   |
| これまでの取組 | <p>札幌国際芸術祭（2014～）、NoMaps（2016～）</p> <p>Sapporo Parallel Museum（2021～）、ユネスコ創造都市会議への参加 など</p>   |
| 加盟国     | 世界 21 か国 22 都市（札幌市含む）   |

### SIAF2027 におけるメディアアーツ都市展開（方針）

SIAF の国際的なプレゼンスを高め、SIAF の開催による長期的に目指す成果「観光客増加」「まちづくりや経済の活性化」「シビックプライドの醸成」の実現を図るため、**メディアアーツ都市のブランドを最大限に活用**する。その活用にあたっては、単に創造都市さっぽろの象徴事業として SIAF を打ち出すだけでなく、**メディアアーツ都市加盟国との積極的な連携**を通して、国際的なネットワークを広げるとともに、国際色豊かで多彩なアートの提供を実現する。

## 2025 年度の具体的な展開案

メディアアーツ加盟国を対象に、ネットワーク名簿や UCCN 総会の間などを活用して連絡を取り、SIAF に関心を持ち、来札が可能な都市との連携方法を模索。2026 さっぽろ雪まつり期間中に開催を予定している「SIAF プレイメント 2026（以下、「プレ 2026」）」での展開を軸に検討。

- ① **プレ 2026 の会期中に連携都市によるシンポジウムを実施**（場所：SCARTS、札幌市資料館など）  
→ メディアアーツ展開事例や SIAF2027 で扱うテーマをもとに開催し、ネットワークを強化
- ② **プレ 2026 において連携都市で活動するアーティストの作品展示を実施**（場所：雪まつり会場）  
→ イベントの国際色を高めるとともに、他都市と協働することで、事業規模を拡大

## 他のメディアアーツ都市（一例）

| 都市                   | 特色（札幌との関連性など）   | 参考写真  |
|----------------------|---|---|
| アンギャン=レ=バン<br>（フランス） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2013 年に加盟（世界で 1 都市目）</li> <li>・ メディアアーツ分野の幹事国</li> <li>・ 世界冬の都市市長会 2024 にオブザーバー参加</li> <li>・ 国際ビエンナーレ「バン・ニューメリック」を開催</li> </ul>  |  <p>&lt;バン・ニューメリック&gt;</p>      |
| 光州<br>（韓国）           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2014 年に加盟</li> <li>・ メディアアーツ分野の副幹事国</li> <li>・ 光州ビエンナーレなど数々の文化芸術イベントを開催</li> <li>・ 光州メディアアートフェスティバル 2020 に SIAF ラボの展示</li> </ul> |  <p>&lt;光州ビエンナーレ&gt;</p>       |
| リンツ<br>（オーストリア）      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アルス・エレクトロニカで小川氏（SIAF2024・2027 ディレクター）が活動</li> <li>・ 毎年、アルスエレクトロニカ・フェスティバルを開催</li> <li>・ 2024 年 9 月に秋元市長（会長）が表敬訪問</li> </ul>      |  <p>&lt;アルスエレクトロニカセンター&gt;</p> |
| オウル<br>（フィンランド）      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2023 年に加盟</li> <li>・ 北欧に位置し、冬の都市という共通点</li> <li>・ 2026 年の欧州文化首都として選出</li> <li>・ 毎年、光の祭典「ルモ・ライト・フェスティバル」を開催</li> </ul>            |  <p>&lt;ルモ・ライト・フェスティバル&gt;</p> |